



今回は2つの指標について取り上げます♪
まずはこちらから!



QI指標 ⑩臨床倫理カンファレンス について紹介します!!

臨床現場で起こり得る倫理的な問題について、組織的に解決するために臨床倫理カンファレンスが開かれます。院内の体制を項目ごとに表し、17点満点での点数評価を行います。当院では「倫理委員会」と「臨床研究・治験審査委員会」2つの委員会にてそれぞれカンファレンスが行われていますが、ここでは倫理委員会のみで点数評価しています。

※倫理とは簡単に言うと、法に触れるわけではないけれど、社会的に守らなければならない人々の間にある「道徳」や「モラル」のようなものです。

体制	評価点数			
	0	1	2	3
専任部門(委員会・部会・チーム等)があるか	ない		ある	
専任部門による定例会の開催頻度	0回/年	2回/年	4回/年	6回以上/年
カンファレンス開催時の構成メンバー	1職種	2職種	3職種	4職種以上
教育・研修回数(全体)	0回/年	1回/年	2回/年	3回以上/年
専任部門のコンサルテーション実施回数	0回/年	1回/年	2回/年	3回以上/年
倫理委員会でフィードバックを行った (病院全体で情報共有を図った)事案件数	0件/年	1件/年	2件/年	3件以上/年

〈対象期間〉 2017年度

※塗りつぶした箇所が当院の点数を示しています。

合計点数: 5点/17点満点

※2016年度の点数は 7点
専任部門のコンサルテーション
実施回数の項目が2点でした。

※当院は定例ではなく随時開催
となっております。

当院の倫理委員会は、副院長を委員長としてその他各部署の所属長と、院外の有識者2名で構成され、必要に応じて随時開催されています。委員会の決定事項は委員長より病院長へ上申され、承認をいただくことになっています。

病院が取り組むべき倫理的課題は大きく分けて①【診療の提供方法を主とした診療分野に関する課題】と②【臨床研究や治験などの研究分野】があります。当院の倫理委員会では①について取り組んでおり、②については臨床研究・治験審査委員会が担っております。

①に対する具体的な取り組みとしては、患者様の治療に国の認可が下りていない診療器材を病院内で使用したい場合、許可するためにその重要性について審議を行ったり、治療方針について医師と信頼関係が築けなかった患者様に対し、病院として診療するか否かを審議したりします。

現在当院では、倫理委員会の目的・活動、倫理的な配慮に対する教育など、職員に浸透していないという問題もあります。そこで、今年度より教育推進委員会と連携して啓蒙活動を始めることになりました。

今後、取り上げてほしい問題や課題などがございましたらお気軽にお問い合わせください。

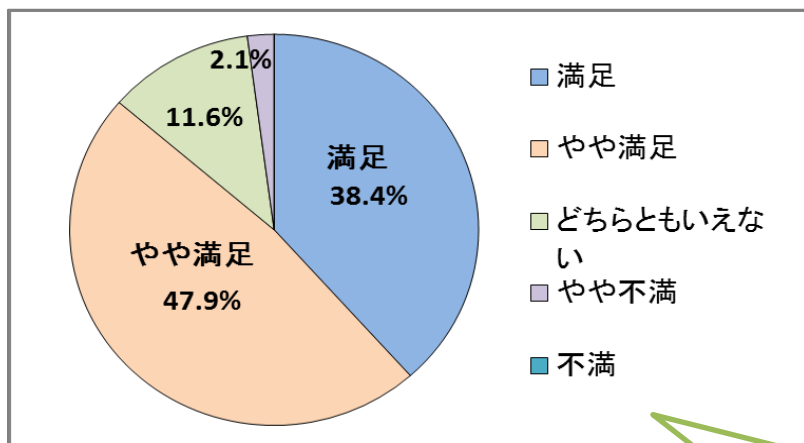
倫理委員会事務局 より
コメントをいただきました!



QI指標 ⑰患者満足度 について紹介します！！

ここでは【当院について、総合的にはどう思われますか】という設問に対する結果を割合で示しています。外来診察をされた患者様、もしくはご入院された患者様へ隔年で「外来満足度調査」「入院満足度調査」のアンケートにご協力をいただいております。

「生の声」を病院運営に反映させることによって、当院の改善すべき点(改善事項)を明瞭にし、地域の皆様から選ばれる病院づくりを目的としています。



〈対象〉 2017年12月1日～12月7日に
外来診察をされた患者様

〈計算式〉 $\frac{\text{回答数}}{\text{有効回答数}}$
有効回答数 … 378件

↓ 日本病院会2016年度QIプロジェクト参加
243病院平均

満足 … 42.7%
やや満足 … 39.9%

満足・やや満足と回答された合計割合は
平均よりも3.7%上回っています♪



サービス向上委員会より
コメントをいただきました！

●サービス向上委員会とは…

患者満足度向上の為、患者満足度調査の実施と評価、職員の接遇向上など、サービス向上に関する事項の検討と実施を行う事を目的としています。委員は医師を委員長とし、各部署より代表者が参加しています。

●患者満足度調査の結果を踏まえて…

当院では昨年度より外部の調査会社に依頼をし、アンケートを実施しております。昨年度は「外来患者満足度調査」を実施し、なかでも【会計の待ち時間】という項目は、一番調査病院の平均を上回っており、【非常に満足】【満足】と回答された方の割合は73.8%でした。フリーアンサーでは「※オストメイト対応トイレを設置して欲しい。」「食事が出来るスペースが欲しい。」「食事をする場所を囲って見えないようにして欲しい。」などのご要望がありました。

そこで右写真のような対応を致しました。患者様からは「すぐ対応してくれて嬉しい。有難う。」とお礼の言葉が相次ぎました。施設的な改善はなかなか難しいですが、これからも患者様の心の声を聞きながら、少しでも満足して頂きたいと考えております。

※オストメイト…おなかに人工肛門・人工膀胱を造設した患者様を指します。



【オストメイト対応トイレ】
4階中央エレベーター横の車椅子トイレに設置



【食事スペース】
医療情報コーナーにテーブル3個を設置
パーティションで囲い見えづらい環境に

今月号をもちまして、当院で取り上げている全QI指標のご紹介が終了となります。各QI指標の意味・当院の取り組み等、少しでもご理解いただけましたでしょうか？今後の発行内容・頻度につきましては未定です。